

# 全日本 語りネットワーク ニュース

全日本語りネットワーク  
〒376-0006 群馬県桐生市新宿 1-4-33  
Tel0277-43-8140 振替 00130-2-114808

## アドリブ

北九州語りべの会 とのしげを



語り手の方がいまだに苦心されている事に「覚えられない」という言葉をよく耳にします。それは、活字を一字一句そのまま覚え込もうとしていることに理由があります。そして、現在も「一字一句間違えずに語ること」が「本当の語り」だと思い込んでいらっしゃる方が多いのに驚かされます。

ジャズの世界にはアドリブという演奏方法があるのは皆さんご存知の通りです。それは、演奏者がその瞬間に感じた音をその場で自由に表現するものです。しかし、「自由に」といっても「好き勝手に」ということではありません。それには、その曲のルールというものが存在します。

語りの場合に当てはめると「ストーリー」ということになるのでしょうか？ ですから「ストーリー」から外れたアドリブはあり得ないのです。

一字一句を語ろうとするあまり、途中で詰まってみたり、同じ場所を何度も言い直してみたり……。ある男性は活字を忘れてしまい「もとい！」と言って語り直しました。

人間ですから、誰だって忘れることはありますし、失敗もします。しかしアドリブを身につけてさえいれば、しなくてもよい失敗を避けることができます。ただ、ストーリーだけは完全に頭の中に入れておかなければなりません。

あなたに「お母さんの話をしてください」とお願いすれば、あなたは一枚の原稿も無くアドリブで語ることができるのですから……。それは、アドリブの鍛練に役立つ第一歩でもあります。

あなたの語り伝えたいストーリーの映像が時にはアドリブとなって紡ぎだされ、聞き手の魂に溶け込んだとき、素晴らしい語りとなるでしょう。それは僕自身への課題でもあるのです。

**総会のお知らせ** 詳しくは2ページをごらんください。

2004年4月24日(土) 武蔵野スイングホール